

うと福祉だより

第144号 令和6年9月1日発行

(3月・6月・9月・12月発行)

困っている人の気持ちを学ぶ
～福祉体験学習～

主な内容

児童・生徒の福祉体験……………	2
生活応援事業……………	3
令和5年度決算報告……………	4
宇土ふれあい福祉相談所……………	5



社会福祉法人宇土市社会福祉協議会

困っている人の気持ちを考えよう

高齢者等疑似体験



宇土東小学校（6月5日）、宇土小学校（6月25日～26日）において、4年生を対象に、福祉体験学習として高齢者等疑似体験が行われました。両校へは毎年、社協職員を講師として派遣し、困っている人の気持ちを学ぶ機会として、授業を行っています。



この体験では、手足が動かしづらくなる道具や耳の聞こえづらさを体験するイヤーマフ、前かがみ姿勢を体験するベルトなどを着用し、身体が自由に動かないことの大変さや介助、声かけの仕方を学びました。

体験した児童からは、「高齢者の気持ちがわかりました」や「困っている人に気づいて声をかけられるようになりたい」という感想をいただきました。



宇土市社会福祉協議会では、学校や各種団体に対し、車いす体験・高齢者等疑似体験などの体験学習、バリアフリーなど福祉に関する出前講座、各種資器材の貸し出しを無料で行っています。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

宇土市社会福祉協議会 電話0964-23-3756



夏休み の福祉学習 ワークキャンプ

夏休み期間である8月7日～8日にかけて、小・中学生、高校生を対象に、ワークキャンプを実施しました。これは、ボランティア活動や高齢者等のふれあいを通じて、福祉に対する理解と関心を深め、今後の福祉活動やボランティア活動参加のきっかけづくりとしてもらうことを目的としたものです。

今年のワークキャンプでは、高齢者等疑似体験、福祉施設の職員さんからの“福祉の仕事とその魅力”についての講義、ふれあいクラブ参加者や老人福祉センターの利用者との交流を通して、福祉やボランティアに関する理解を深めてもらいました。

ワークキャンプにご協力をいただきました地域の皆さま、施設職員の皆さまに感謝いたします。

- | | | |
|------|-----|-----------------------|
| 8月7日 | 会 場 | 宇土市福祉センター |
| | 参加者 | 小学生3名、中学生1名 |
| | 指導者 | 照古苑 杉本様 |
| 8月8日 | 会 場 | 友遊 西部
(西部老人福祉センター) |
| | 参加者 | 中学生4名 |
| | 指導者 | 西城園 芳本様、西原様 |



生活応援事業で“ちょっとしたお手伝い”

宇土市内に居住し、一人暮らしで身体機能が低下されている高齢者、障がい者の方に、週1回程度、ボランティアさんがゴミ捨てなどの“ちょっとしたお手伝い”をしていただく事業です。

利用できる人

- ①65歳以上の一人暮らしで、身体機能が低下している高齢者。介護保険サービスやその他の事業を利用できる人はそちらを優先していただきます。
- ②65歳以上の一人暮らしで、軽度の認知症状を有し、在宅生活を維持するための見守り、声掛けが必要な高齢者。
- ③身体障害者手帳1級又は2級を所持し、障がいサービスのみでは生活維持が困難な人。
- ④筋・骨格系や神経難病の診断を受け、障がいサービスのみでは生活維持が困難な人。

“ちょっとしたお手伝い”の例

- ・ゴミ出し（燃えるゴミ）
- ・お薬の仕分け
- ・郵便物の投函
- ・玄関先の掃除
- ・安否確認
- ・介護予防教室への付き添い など

生活応援事業イメージ図



※1回の訪問につき、1つの支援内容です。1回あたり200円の費用がかかります。内容によっては対応が難しい場合があります。

利用を希望される方、ボランティアをしたい方も、まずご連絡ください。

問い合わせ 宇土市社会福祉協議会 ☎0964-23-3756

災害ボランティアセンターの設置訓練を実施します

熊本地震の教訓を活かし、またいつ・どこで発生するかわからない災害に備えるため、「災害ボランティアセンター設置訓練」を実施します。今年度の訓練内容は下記のとおりですので、興味がある方はお気軽にお申込みください。

- 日時** 令和6年11月6日(水) 13時～15時30分(受付12時40分～)
- 会場** 宇土市福祉センター(宇土市浦田町44)
- 対象** 市内在住で、災害ボランティア活動に興味がある方
- 内容** 講義：災害ボランティアセンターの運営方法と役割について
体験：災害ボランティアセンターマッチングシミュレーションゲームを用いて、運営の実際を学びます。

参加費 無料

申込方法 二次元コードを読み込んで申し込むか、宇土市社会福祉協議会までお電話ください。

申込み・問い合わせ 宇土市社会福祉協議会
電話0964-23-3756



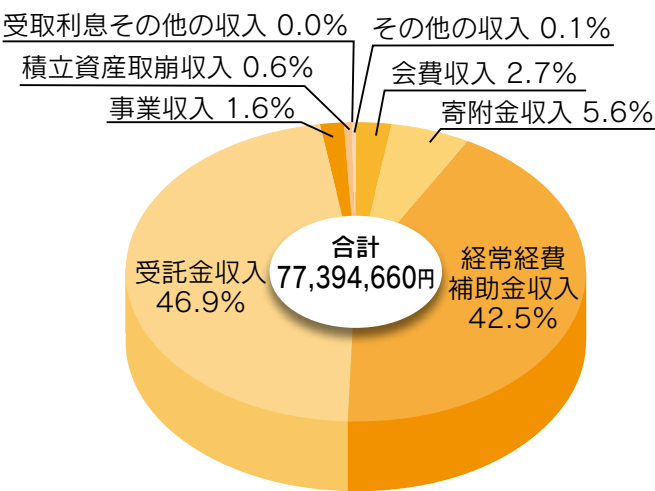
令和5年度宇土市社会福祉協議会

決算報告

収入の部

単位：円

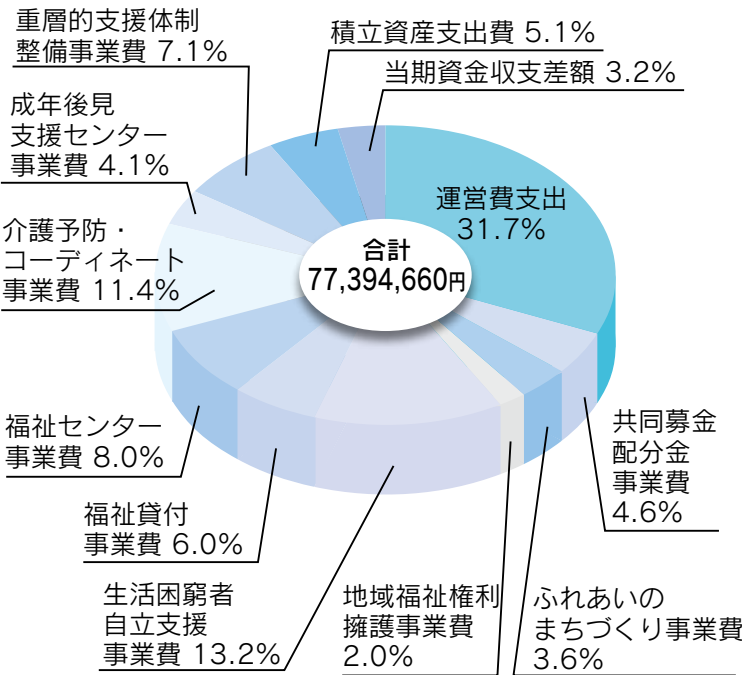
項 目	予算額
会費収入	2,103,880
寄附金収入	4,295,804
経常経費補助金収入	32,868,331
受託金収入	36,302,866
事業収入	1,268,000
受取利息その他の収入	1,599
積立資産取崩収入	462,000
その他の収入	92,180
合計	77,394,660



支出の部

単位：円

項 目	予算額
運営費支出	24,486,411
共同募金配分金事業費	3,557,312
ふれあいのまちづくり事業費	2,811,508
地域福祉権利擁護事業費	1,559,773
生活困窮者自立支援事業費	10,231,750
福祉貸付事業費	4,665,662
福祉センター事業費	6,220,736
介護予防・コーディネート事業費	8,820,093
成年後見支援センター事業費	3,170,000
重層的支援体制整備事業費	5,490,320
積立資産支出費	3,943,688
当期資金収支差額	2,437,407
合計	77,394,660



貸借対照表

単位：円

資産の部	
流動資産	45,601,683
固定資産	95,113,915
資産の部合計	140,715,598
負債の部	
流動負債	16,329,012
固定負債	34,831,448
負債の部合計	51,160,460
純資産の部	
基本金	1,000,000
基金	32,862,226
国庫補助金等特別積立金	176,876
次期繰越活動増減差額	55,516,036
純資産の部合計	89,555,138
負債及び純資産の部合計	140,715,598

社協会費や寄附金・共同募金配分金は、このような事業に活用させていただきました。

みんなで支え合う
地域づくりのために

4,355,302円

- 地区社協活動助成
- 制服バンク事業
- ちびっこ広場遊具修理 等



ボランティア活動
育成のために

1,238,420円

- 福祉活動団体助成
- ボランティア協力校助成
- 災害ボランティアセンター設置訓練 等



広報活動・
事務運営費に

2,865,438円

- 福祉だより発行
- ホームページ作成
- 募金活動費 等



秘密
厳守相談
無料

宇土ふれあい福祉相談所

☎0964-23-3756

宇土市福祉センターでは、市民の皆さまのいろんな相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。
※相談日が祝日の場合は、休みになります。

法律相談（予約制）

■日時：第3金曜日の13:00～16:00 ■荻迫光洋弁護士
■当月1日の8:30から予約受付開始（※1日が土曜・日曜・祝日の場合は翌営業日から。初回の方優先）8名まで、1名20分程度

年金相談（予約制）

■日時：第1・3木曜日の10:00～15:00
■熊本東年金事務所（予約先：096-367-2503）

不動産相談（予約制）

■日時：日程調整のうえ
■熊本県宅地建物取引業協会宇城支部

成年後見相談

■日時：第1金曜日の13:00～16:00
■公益社団法人成年後見センターリーガルサポート熊本支部

生活困窮者総合相談

■日時：月～金曜日の9:00～16:00
■うと自立相談センター

ふれあい福祉相談

■日時：毎週水曜日の13:00～16:00 ■FAXでも相談を受け付けています。（FAX：0964-22-4971）
■民生委員が日常生活のお困りごとや悩みごとについて、助言や援助を行います。

生活にお困りの方へ 自立相談センターにご相談ください



宇土市在住で、さまざまな事情から経済的に困窮している方を対象に、今の困窮状態から早期に抜け出せるよう支援を行います。

自立に向けた相談支援

ご本人やその家族、取り巻く状況、問題の背景などを整理し、解決のための支援を探ります。自立に向け、ご本人と一緒に作成した支援プランをもとに、包括的・継続的な相談支援を行います。

家計相談支援

家計状況を整理し、改善に向けた支援を行います。

就労準備支援

就労に向けた日常生活自立・社会自立・就労自立のための訓練等支援を行います。

子どもの学習・生活支援

生活に困窮している世帯の子どもに対する学習・生活習慣改善等の支援を行います。

その他の支援

就職活動を支えるための支援、住宅困窮者への支援など

相談・問い合わせ うと自立相談センター 電話0964-23-3756

新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金 特例貸付の返済に関するご案内～返済にお困りの方～

新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を借りた方で、現在も生活にお困りで返済が難しい場合には、「償還猶予（返す時期を遅らせる）」、「月々の返済金額を減額する」などの方法をご案内できる場合があります。

また、国の定めた要件に該当する場合には借りたお金の全部または一部が「償還免除（返済不要）」となる場合もあります。

貸付を受けた方に対し、8月上旬に「新型コロナウイルス感染症にかかる生活福祉資金償還免除手続きのご案内」をお送りしていますので、内容を確認していただき、ご不明な点があれば、まずはお問い合わせください。要件に該当する場合には、手続きのお手伝いができます。

問い合わせ 宇土市社会福祉協議会 電話0964-23-3756

ふくしがわかるクイズ

次の2つの問題について、3つの中から正解と思われるものをそれぞれ1つ選んで、右記の要領でご応募ください。

第1問

宇土市社会福祉協議会では、困っている人に寄り添える地域づくりの機会として、小学校等へ講師を派遣し、福祉体験学習を実施しています。今年度も宇土東小学校、宇土小学校の4年生を対象に行いました。さて、この体験の内容として正しいものは、次のうちどれでしょう？

- A：高齢者等模擬体験
- B：高齢者等疑似体験
- C：高齢者等仮想体験

第2問

宇土市社会福祉協議会では、一人暮らしで身体機能が低下されている高齢者、障がい者の方に、週1回程度、ボランティアさんが“ちょっとしたお手伝い”をしていただく事業を行っています。さて、この事業の名称として正しいものは、次のうちどれでしょう？

- A：生活応援事業
- B：生活激励事業
- C：ごみ捨て応援事業

応募方法

下記の方法で、クイズの答え、住所（宇土市以外は不可）、氏名、年齢、ご意見、ご要望を記入・入力の上応募してください。全問正解者の中から抽選で10名の方に千円相当のクオカードをプレゼントします。※切は10月1日（当日消印有効）。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。（前回の正解は①-C、②-Bでした。）

【ハガキで応募】

官製ハガキに必要事項を記入の上、
〒869-0492 宇土市浦田町44
「市社協ふくしがわかるクイズ」係までお寄せください。

【二次元コードで応募】

STEP 1 二次元コードを読み取る



STEP 2 画面が開いたら「メール作成」を押す

STEP 3 メールが起動されたら必要事項を入力し、送信してください

九州のどまんなかから笑顔をお届け

笑顔のフォトコンテストを開催します

1 募集テーマ 笑顔

子どもや大切な家族、仲のいい友達、仲間の“笑顔の写真”、“見ると笑顔になる写真”を募集します。

2 応募資格

宇土市にお住まいの方、もしくは宇土市の事業所に勤務している方※プロのカメラマンの応募はご遠慮ください。

3 応募方法

右記のURL または二次元コードを読み取り、応募要項を確認してください。応募フォームに「応募者情報」「作品タイトル」「エピソード」などの必要事項を入力し、作品画像を添付して応募してください。1人3点まで応募可能です。



4 応募期間 令和6年10月31日（木）まで

5 各賞について

主催者による厳正な審査の上、計3点の入賞作品を決定し、併せて副賞（クオカード）を贈呈します。また、入賞作品は「うと福祉だより」の表紙や当会が行う各種広報活動で使用させていただきます。

- 👑 最優秀賞 1点・副賞5千円
- 👑 優秀賞 1点・副賞3千円
- 👑 ボラ連会長賞 1点・副賞3千円

問い合わせ 宇土市社会福祉協議会 電話0964-23-3756
【URL：http://www.utoshakyou.jp/photo-contest.html】

捨てるの
ちょっと待った！

制服バンク



うと

制服バンク事業では、卒業して使わなくなった、サイズアップで着られなくなった制服等を募集しています。

募集内容 市内の幼稚園、保育所、小学校、中学校、県内の高等学校、の制服（夏・冬服、シャツなど）、体操服（半袖半ズボン、ジャージなど）、ランドセル、通学カバンなど

受付方法 宇土市社会福祉協議会（浦田町44）に直接お持ち込みいただくか、ご連絡いただければ受け取りに伺います。なお受付時間は原則、平日の8時30分から17時15分までとさせていただきます。

受け付けた制服等は、定期的で開催している販売会で販売させていただきます。なお、その売上は赤い羽根共同募金会への寄付金として扱います。



編集 / 発行



社会福祉法人宇土市社会福祉協議会

〒869-0492 熊本県宇土市浦田町44番地 宇土市福祉センター内 TEL (0964) 23-3756 / FAX (0964) 22-4971

E-mail : utoshakyou@kumamoto.email.ne.jp URL : http://www.utoshakyou.jp/

この広報紙にかかる費用の一部は赤い羽根共同募金の配分金が使われています。